

2023 年度春季 海外体験学習プログラム インスタディツアー 募集要項

1. テーマ

インドの農村で学ぶ女性の自立・教育・経済発展

2. 主旨・目的

体験学習プログラムは、学生が国内や海外における該当地域の抱える問題に触れるとともに、その地域でのボランティアやフィールドワーク、地域住民や NPO/NGO との交流等、さまざまな体験学習を通じて社会の問題を自身の問題としてより深く考え、行動するきっかけになることを目的としています。

2023 年度春期休暇中に実施する海外体験学習プログラムの行き先は、インド 4 大都市の 1 つで日系企業も多く進出している大都市でありながら、どこか牧歌的な雰囲気もあるチェンナイです。経済学部の大原教授の下、今回のプログラムでは以下の点を中心に学んだことに関心を持ち続け、その後のボランティア活動や身近な社会課題の解決に向けて一歩が踏み出せるようなきっかけとなることを期待します。

- ①チェンナイで女性の自立を長年支援してきた現地 NGO の経験を、農村や漁村の現場を体験しつつ学びます。
「変わるインドの今」がわかります。
- ②英語をブラッシュアップします。レクチャーを受けるだけでなく、現地中学生に日本文化を紹介するコンテンツを用意し、英語でプレゼンします。
- ③日本政府機関（総領事館と JETRO）を訪問し、日本とインドの関係を学びます。
- ④「世界遺産」がある海の町・マハーバリプラムでインドの歴史と文化を学びます。

3. プログラムの流れ

- (1) 事前学習会 : 2023 年 11 月~2024 年 2 月にかけて計 3 回程度実施予定
- (2) 現 地 訪 問 : 2024 年 3 月 2 日（土）～11 日（月） 10 日間
(出発) 3 月 2 日（土） 7:00 頃 関西国際空港集合予定
(帰京) 3 月 11 日（月） 5:40 頃 関西国際空港到着予定
- (3) 事後学習会 : 2024 年 3 月中に 1~2 回程度実施予定
- (4) レポート提出 : 2024 年 3 月 29 日（金）17:00 [期限厳守]
- (5) 学内報告会 : 2024 年度（第 1 学期）授業開始以後 ※日程・開催方法などは別途調整します

4. 募集人数

10 名（最小催行人員 8 名） ※参加希望者が募集人数を超えた場合は選考を行います。

5. 参加(応募)条件 ※以下のすべての条件を満たすことが必要です。

- (1) 本学に在学する学生（学部生、短期大学部生）
- (2) 募集説明会に参加、もしくは説明会動画を視聴し、内容を十分に理解していること。
※動画はセンターHP (<https://www.ryukoku.ac.jp/nc/news/entry-13514.html>) から見るができます。
- (3) 上記「3. プログラムの流れ (1) ~ (5)」すべてに参加・取り組むこと。
- (4) 集合から解散まで同一行動をとり、引率者の指示に従うこと。
- (5) 保護者もしくは保証人の参加同意を得ること（「誓約書・保証人同意書」の提出）。
- (6) 単位の取得を目的とした参加でないこと。※参加証明書などは発行しません



センターHP

6. 現地訪問行程・内容（予定）

	月 日	訪問都市	現地時間	スケジュール
1	2024/3/2 (土)	移動	07:00 09:55 15:55 21:40 23:05	関西国際空港（T1）4階国際線出発ロビー集合 発 クアラルンプール国際空港着、トランジット 発 チェンナイ国際空港着 【チェンナイ 泊】
2	2024/3/3 (日)	チェンナイ	午前 午後	ミーティング（インドでの心得等） チェンナイ市内観光（マドラス大学、ビーチ、ジョージタウン等） 【チェンナイ 泊】
3	2024/3/4 (月)	チェンナイ	午前 午後	JETROチェンナイ事務所 在チェンナイ総領事館表敬訪問 【チェンナイ 泊】
4	2024/3/5 (火)	チェンナイ	午前 午後	農村へ移動（バスで2時間） GUIDEで開学式、オリエンテーション 【農村部ホテル 泊】
5	2024/3/6 (水)	チェンナイ	午前 午後	英語レッスン（プレゼン準備） 農村見学：暮らし、女性の自治組織 【農村部ホテル 泊】
6	2024/3/7 (木)	チェンナイ	午前 午後	英語レッスン（プレゼン準備） 農村見学：環境、指定カースト、教育 【農村部ホテル 泊】
7	2024/3/8 (金)	チェンナイ	午前 午後	農村中学校でプレゼンテーション（英語成果披露） ～日本文化の紹介と子供達の国際理解支援～ 修了式 移動（マハ・ブ・リフ・ラムへ1時間） 漁村見学：生計と経済（マハ・ブ・リフ・ラム） 【マハ・ブ・リフ・ラム 泊】
8	2024/3/9 (土)	マハ・ブ・リフ・ラム カチ・ブ・ラム	午前 午後	マハ・ブ・リフ・ラム観光（世界遺産） カチ・ブ・ラム観光（ドラビダ寺院） 【チェンナイ 泊】
9	2024/3/10 (日)		11:45 18:15 22:40	チェンナイ発 クアラルンプール着 クアラルンプール発 【機中 泊】
10	2024/3/11 (月)	帰国	05:40	関空着

7. 参加費

約150,000円

【含まれるもの】

- ・往復航空券代（エコノミークラス／国内・海外空港使用税等含む）
- ・現地宿泊費
- ・食費（朝食のみ）
- ・現地での活動にかかる費用（プログラム費）

【参加費に含まれないもの】

- ・自宅～関西国際空港間の交通費
- ・昼／夕食費（機内では機内食が出ます）
- ・海外旅行保険代金（約 8,000 円／大学にて全員同じ保険に加入予定）
- ・燃油サーチャージ（6,880 円／2023 年 10 月 2 日現在）
- ・インドビザ取得費（ステッカービザ（6 か月）1,200 円、参考取得代行手数料 6,600 円）
- ・パスポート取得費（5 年：11,000 円、10 年：16,000 円）
- ・個人的性質の費用（飲物代・お土産代・洗濯代等）
- ・チップ

※最終的な参加費の決定はレート等が決定し次第、お伝えします。15 万円を大きく上回ることはありません。

8. 応募方法

10月27日（金）17:00までに、海外体験学習プログラム願書（センターHPよりダウンロードできます）に必要な事項を入力・印刷してボランティア・NPO活動センター（深草・瀬田どちらでも可）へ持参してください。

※応募者が多数となった場合、書類選考を実施する可能性があります。



願書（センターHP）

9. 面接

応募人数の多寡にかかわらず、以下のいずれかの日程で面接を行います。授業が入っている日時以外で面接日程を調整するため、願書裏面に必ず記入してください。アルバイトなど授業以外の理由は認められません。

面接日： 11月7日（火）4限 / 11月8日（水）4限 / 11月8日（水）5限 のいずれか

※11月2日（木）15:00に面接日の連絡をメールにて行います。必ずメールを確認してください。

10. 参加可否通知

11月15日（水）15:00にポータルサイトにて結果発表を行います。

選考結果を必ず確認し、選考された学生は、「参加する」か「辞退する」を11月22日（水）15:00 [期限厳守]までにセンターのメールアドレス（ryuvnc@ad.ryukoku.ac.jp）宛にメール連絡してください。確認のメールがない場合、参加できないことがあります。

※キャンセル待ちを希望する場合も、11月22日（水）までに連絡ください。キャンセルがあり次第、随時連絡します。

10. 参加費の支払いおよび必要書類の提出等について

参加が確定したら、各種渡航手続きについて説明をしますので、速やかに所属キャンパスのボランティア・NPO活動センターへ必要書類を受け取りに来てください。

参加費の支払いは12月末頃までを予定しています。

11. 参加レポートの提出について

参加者には海外体験学習プログラム報告書掲載のために、以下①②の提出を求めます。

① 参加レポート（1300字程度）※事前説明会で様式を配布予定

② 報告書内容に関する写真データ2枚

●提出方法：レポート様式に入力したものを、写真データと共に ryuvnc@ad.ryukoku.ac.jp へメール提出

●提出期限：2024年3月29日（金）17:00 [期限厳守]

12. 活動報告会について

今回のプログラム参加で学んだこと、知ったこと（訪問した地域の社会課題や解決に向けた取り組み、工夫されている点など）を、自分自身の言葉で伝え、広く学内に知らせていただくために、活動報告会を実施します。報告会は、2024年4～5月頃に開催する予定です。

報告会は1時間を予定しており、参加学生の発表は全体で30～40分程度です。参加メンバーでグループ分けなど相談し、報告用スライド作成等の作業を進めていただくことになります。発表の形式や内容は参加メンバーで相談して決めます。

13. その他

何か質問等がある場合、ボランティア・NPO 活動センターまで来室してください。

以 上

【連絡先】

龍谷大学 ボランティア・NPO 活動センター（土日祝休み）

深草：京都市伏見区深草塚本町 67 TEL 075-645-2047

瀬田：大津市瀬田大江町横谷 1-5 TEL 077-544-7252

E-mail：ryuvnc@ad.ryukoku.ac.jp